

袖ヶ浦市体育協会野球専門部が主催する軟式野球大会は、公認野球規則及びこの野球大会要綱に基づき実施する。

- 1 袖ヶ浦市体育協会野球専門部の主催する軟式野球競技大会に参加する全てのチームは、年度毎に開催される「審判講習会」及び「総合開会式」に参加することを必須の条件とする。(2名以上の参加を条件とするが、年度により異なる場合もある。) 

なお、不参加のチームについては、1回目にイエローカード(警告書)、2回目にレッドカード(通告書)を発令し、大会申込み等の受付をしないなどの制裁を課す。但し、特別な事情があるものと認められるものはこの限りではない。
- 2 試合は、トーナメント方式にて行い、7回戦又は1時間40分以内とする。これを超え同点の場合は、次の特別ルールを適用する。尚、決勝戦及び第4ブロック大会においても同様とする。 

【特別ルール】

前の回の継続打順で、前回の最終打者を1塁走者、その前の打者を2塁の走者とする。すなわちアウト1・2塁の状態にして1イニングを行う。

勝敗が決しない場合は、更に継続打順でこれを繰り返す。尚、通常の延長戦と同様規則によって認められる選手の交代は許される。
- 3 得点差によるコールドゲームは、5回以降7点差とする。雨天又は日没等によるコールドゲームについては、5回戦で成立するものとする。尚、決勝戦においても同様とする。
- 4 チームは、試合開始予定時刻の1時間前(第1試合は30分前)に球場に集合し、チーム名を大会役員に告げること。 

前試合の5回終了時にオーダー表3枚(決勝戦は4枚)及び「公民館/体育施設利用者名簿」に必要事項を記入し、大会役員に提出すること。尚、第1試合については30分前とし、試合の出来る状態であること。
- 5 背番号は、監督が30番、コーチ29番、28番、主将を10番とし、選手は0番から99番とする。
- 6 オーダー表提出時に「まだ来ていない選手」は記入せず、「到着した時点」で審判員に確認し記入すること(千葉県野球協会とは異なるので注意すること)。
- 7 抽選番号の若いチームがダッグアウト(ベンチ)の一塁側、先攻とする。また、シートノックの際には後攻チームから行い、時間は5分以内とする。ノッカーの服装は選手と同一のものとする。
- 8 試合中にダッグアウト(ベンチ)に入れるものは、チーム代表者、スコアラー、登録された監督・コーチ・選手及びマネージャーのみとし、応援者については監督の責任において措置をすること。
- 9 球場内でのフリーバッティングは認めないが、トスバッティングは相手チームのフィールドイング中に限り、外野のファウルテリトリーで行うことを認めるものとする。
- 10 グラウンド整備は試合終了後両チームで速やかに行い、次試合のチームは外野で待機(アップ)すること。シートノックは整備終了後行う(ベンチの入れ替えは整備終了後とする)。
- 11 抗議権は、監督又は主将と当該選手のみとする。
- 12 ファウルボール(グラウンド場外も含む)は、両サイドで拾い速やかに球審に返すこと。
- 13 野球用のスパイク及び運動靴以外(サンダル等)でのグラウンドへの入場は全球場で禁止とする。
- 14 喫煙は指定された場所を利用し、指定以外の場所では行わないこと。
- 15 初回の投手及び交代した投手に限り7球以内の投球練習が可能であり、他は全て3球以内とする。
- 16 捕手は、プロテクター、レガース、捕手用ヘルメット、ファウルカップを必ず装着のこと。
- 17 打者、次打者、走者、ベースコーチはヘルメットを着用しなければならない。一般のチームの打者、次打者、走者は両側か片側にイヤーフラップの付いたものを、少年・学童部は全て両側にイヤーフラップの付いたものとする。
- 18 試合終了後、ダッグアウト(ベンチ)内の整理清掃、ゴミの持ち帰りは各チームの責任として行うこと。